

よしかわ地域包括ケア計画
（第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）

平成30年3月
吉川市

市の特性

充実していること（強み）

【高齢者自身の強み】

- 高い健康意識
- 高い地域活動への参加意向

【地域の強み】

- 地域型介護予防教室が全自治会の3分の1で開催されている

不足又は問題となっていること（弱み）

【高齢者自身の弱み・課題】

- 食生活改善・生活習慣病予防が必要
- 足腰の痛みによる外出機会の減少
- 地域活動への参加率は低い

【地域の弱み・課題】

- 家族、友人・知人以外の相談相手が地域と回答する割合が低い

高齢者、介護者のニーズ等（機会）

- 介護者の不安要素として認知症状の対応、夜間の排泄の割合が大きい
- 在宅生活の継続に必要なサービスは、移送サービス、外出同行の割合が大きい
- 人生の最後を迎えたい場所を自宅と回答する割合が大きい

市全体の問題（脅威）

- 介護負担を強く感じる介護者が多い
- 75歳以上の高齢者数が2025年には、ほぼ倍増
- 高齢者のみ世帯、高齢者ひとり世帯の増加
- 要介護認定者、認知症高齢者の増加
- 在宅医療の必要量の増加
- 介護サービスの必要量の増加

計画の基本理念・地域の将来像

【計画P51】

よしかわ地域包括ケア計画（第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）では、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査や地域インタビューで得られた意見や、第5次吉川市総合振興計画基本構想の目指す都市の将来像や基本理念との整合を踏まえ、現計画の基本理念やこれまでの取組を発展的に受け継ぎながら、基本理念と地域の理想像を掲げ、その実現を目標に総合的に施策を推進していきます。

【基本理念】

高齢者の幸福実感の実現

【地域の理想像】

すべての人が 生涯にわたり
居場所と役割を持ち 活躍する地域

計画の基本目標

【計画P52】

【基本目標 1】

生涯を通じた社会参加により、自らの健康を維持する

〔施策の方向性〕

1 生涯、元気で、現役として活躍する環境をつくる

- 施策1 健康づくり・体力づくりの習慣化と健康への市民理解の促進
- 施策2 地域の担い手づくりと住民主体の通いの場の充実
- 施策3 社会参加型の介護予防の推進と高齢者の就労支援
- 施策4 生きがい活動の支援

【基本目標 2】

地域のつながり、地域の支え合いの力を高める

〔施策の方向性〕

1 高齢者とその家族を支える地域のつながりと生活支援体制をつくる

- 施策1 認知症に関する市民理解の促進
- 施策2 認知症予防・早期発見体制の構築
- 施策3 見守り体制の構築
- 施策4 相談体制の強化
- 施策5 高齢者の権利擁護
- 施策6 地域における支え合いの推進
- 施策7 介護者の支援

【基本目標 3】

地域包括ケアシステムの深化と介護保険制度の持続性を高める

〔施策の方向性〕

1 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくる

- 施策1 地域包括支援センターの相談支援体制の強化と認知度の向上
- 施策2 在宅医療と介護連携の強化
- 施策3 在宅医療と在宅介護に関する市民理解の促進
- 施策4 新しい総合事業の基盤づくり
- 施策5 外出しやすい環境づくり
- 施策6 住まいの確保

2 利用者の状態像に応じた介護サービス提供体制をつくる

- 施策1 居宅サービスの提供体制の確保
- 施策2 地域密着型サービスの提供体制の確保
- 施策3 施設サービスの提供体制の確保
- 施策4 介護保険制度の提供体制の確保
- 施策5 サービスの質の向上

よしかわ地域包括ケア計画（第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）では、団塊世代がすべて75歳以上となる2025年を迎えるに当たり、地域包括ケアシステムの深化を進めるなかで、すべての市民・関係者が地域の問題・課題を自分のこととして、丸ごと受け止める場を地域につくる「地域共生社会」の実現を目指して、3つの重点テーマを掲げて、本計画の施策体系の取組に、利用者の性質に限定しない分野横断的な視点を加え推進していきます。

【重点テーマ】

1：共生型健康生きがいくくり

演劇などの芸術活動やなまらん体操などを通じて、世代や障害などに関係なくできる健康づくりと生きがいくくりを目指します。

2：ともにたたく機会づくり

農業などの生産活動を通じて、世代や障がいなどに関係なく社会参加や就労などのできる環境づくりを目指します。

3：複合課題に対応する相談体制づくり

各種相談支援体制の連携をはかり、高齢者含めた世帯全体として相談支援できる体制づくりを目指します。

人口の見込み

【計画P9】

○平成32（2020）年は、

総人口76,288人、65歳以上人口17,509人、高齢化率22.9%を見込みます。

○平成37（2025）年は、

総人口78,376人、65歳以上人口18,682人、高齢化率23.8%を見込みます。

日常生活圏域

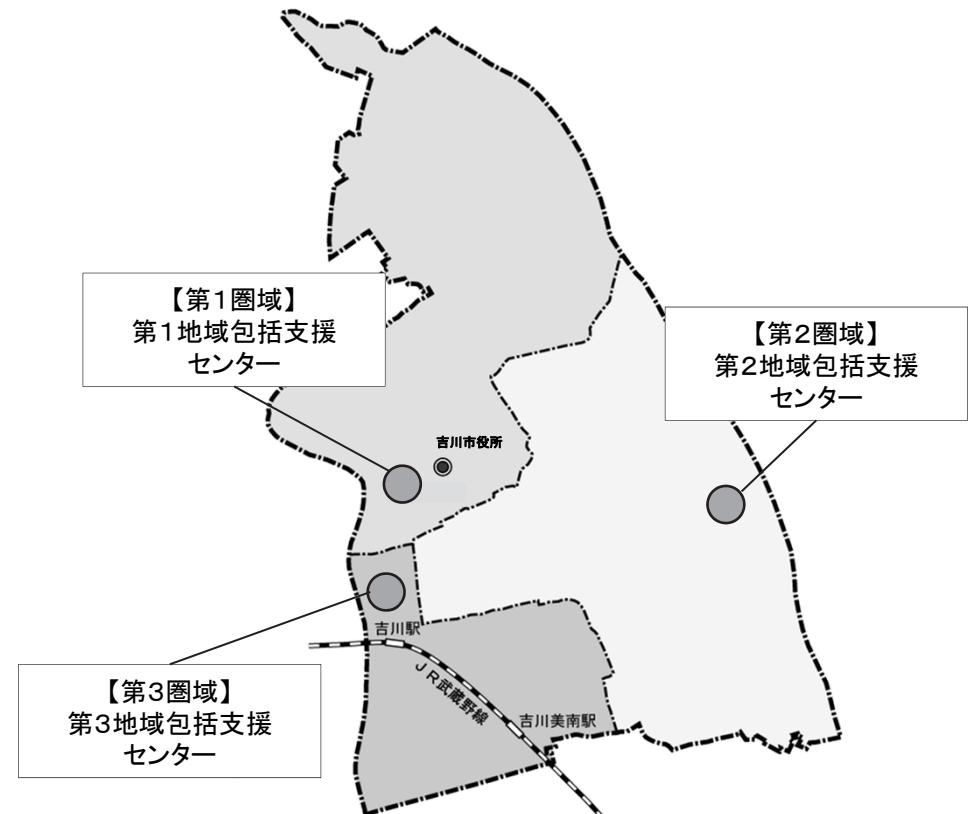
【計画P55・56】

「日常生活圏域」とは、地域包括ケアシステムの実現のために、必要なサービスを身近な地域を受けられる体制の整備を進める単位で、国では概ね30分以内にサービスが提供される範囲としています。

吉川市では、高齢者人口や、町会・自治会など地域における活動の単位を考慮して、中学校圏域を基本に「日常生活圏域」としています。

○日常生活圏域は、第6期計画と同様に3圏域とします。

○地域包括支援センターについては3か所とします。



【基本目標1】

生涯を通じた社会参加により、
自らの健康を維持する

【施策の方向性】

1 生涯、元気で活躍する環境をつくる

施策1 健康づくり・体力づくりの習慣化と健康への市民理解の促進

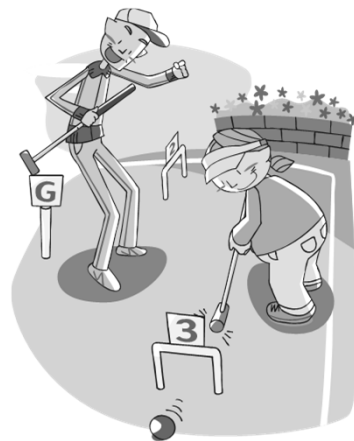
- ウォーキングを通じた健康づくり・体力づくりの習慣化
- いきいき運動教室を通じた健康づくり・体力づくりの習慣化

施策2 社会参加型の介護予防の推進と高齢者の就労支援

- アクティブシニアによる就農の機会づくり
- シニア元気塾による地域デビュー支援
- 介護ボランティア制度の推進

施策3 生きがい活動の支援

- 老人クラブ活動の支援
- 老人福祉センターの充実



【基本目標2】

地域のつながり、地域の支え合いの力を高める

【施策の方向性】

1 高齢者を支える地域のつながりと生活支援体制をつくる

施策1 地域の担い手づくりと住民主体の通いの場の充実

- 健康づくり・体力づくりリーダーの育成・支援
- 地域型介護予防教室の支援

施策2 認知症に関する市民理解の促進

- 認知症キャラバンメイトの養成
- 認知症サポーターの養成

施策3 認知症予防・早期発見体制の構築

- 認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期治療

施策4 見守り体制の構築

- 要介護者見守りネットワークの充実
- 連合長寿会友愛活動による見守り活動と連携

施策5 地域包括支援センターと地域の連携

- 地域ケア会議の実施による地域ネットワークの構築

施策6 高齢者の権利擁護

施策7 介護者の支援

【基本目標3】

地域包括ケアシステムの深化と介護保険制度の持続性を高める

【施策の方向性】

1 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくる

施策1 地域包括支援センターの機能充実と認知度の向上

- 地域包括支援センター相談支援体制の強化と認知度の向上
- 支援体制強化のための研修の実施

施策2 在宅医療と介護連携の強化

- 在宅医療サポートセンターにおける相談支援
- 多職種連携の会による在宅医療・介護連携の強化

施策3 在宅医療と在宅介護の市民理解の促進

- 本人の自己決定支援の実施
- 市民に向けた「在宅医療」、「人生の最終段階」の理解促進

施策4 新しい総合事業の基盤づくり

施策5 外出しやすい環境づくり

施策6 住まいの確保

- シニアの住居や空き家などを活用し、シニア世代と若者の共生をはかる仕組みづくりを研究します。

2 利用者の状態像に応じた介護サービス提供体制をつくる

施策1 居宅サービスの提供体制の確保

施策2 地域密着型サービスの提供体制の確保

- 小規模多機能型居宅介護について必要なサービス見込量に応じた提供体制を整える。

施策3 施設サービスの提供体制の確保

施策4 介護保険制度の理解促進

施策5 サービスの質の向上のための基盤整備

- 介護支援専門員の支援
- 介護相談員の派遣
- 自立支援型ケアマネジメント会議による支援

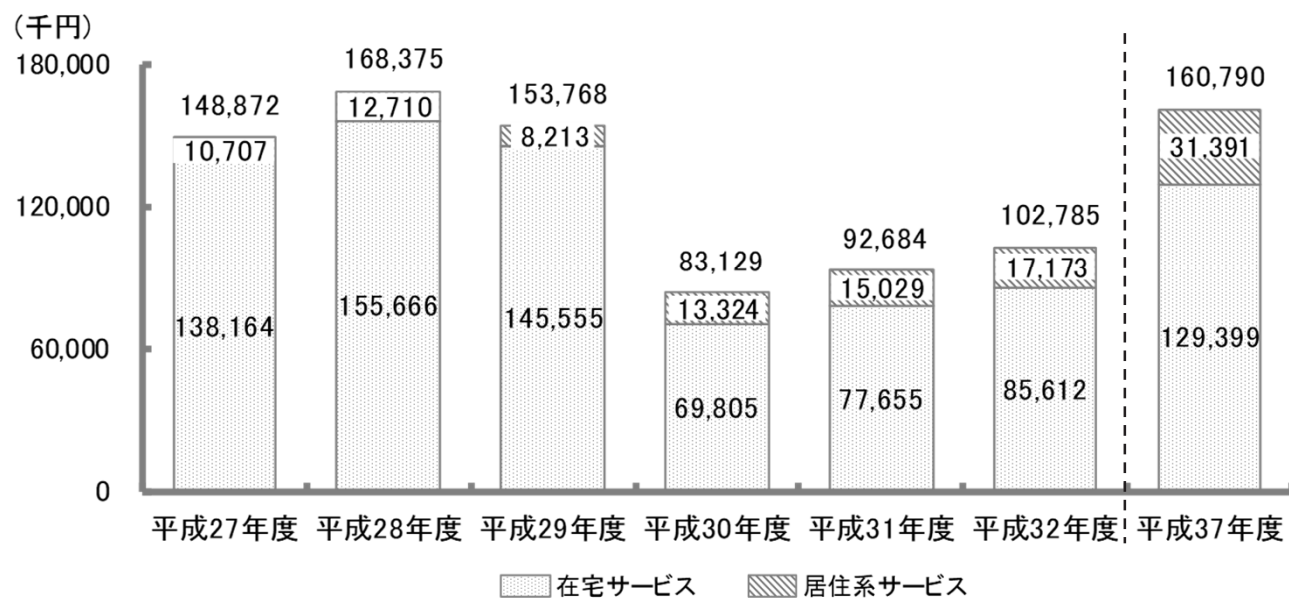


介護予防サービス量（要支援1・2）の見込み

【計画P76】

(単位：千円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成37年度
在宅サービス	138,164	155,666	145,555	69,805	77,655	85,612	129,399
居住系サービス	10,707	12,710	8,213	13,324	15,029	17,173	31,391
合計	148,872	168,375	153,768	83,129	92,684	102,785	160,790

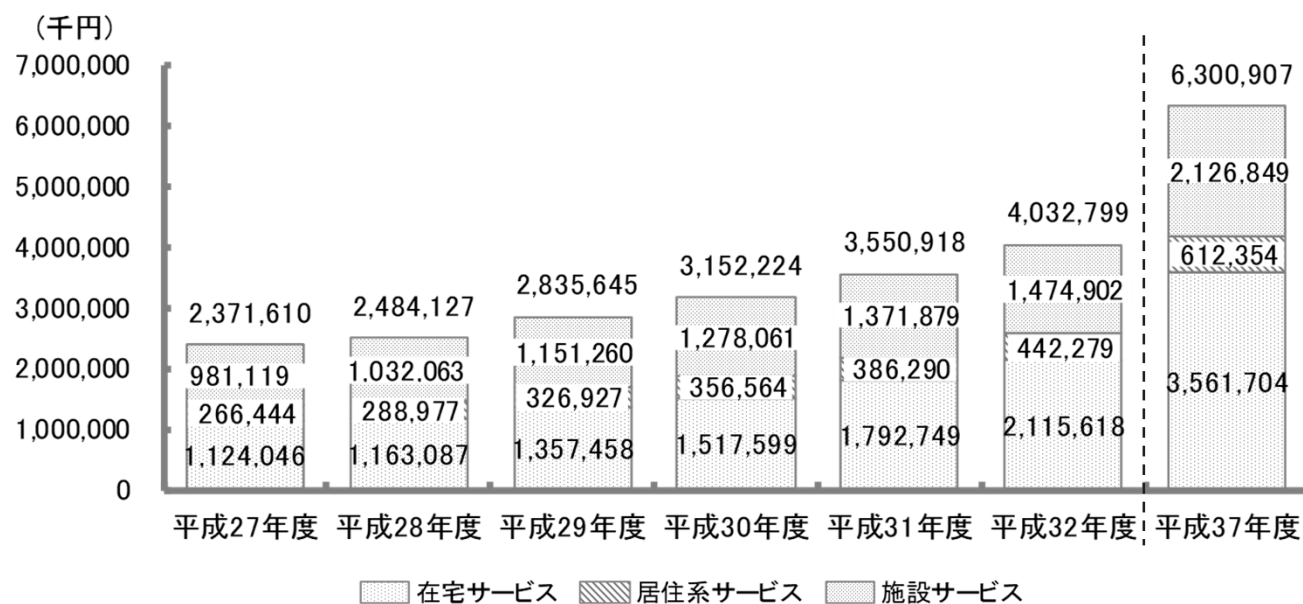


介護予防サービス量（要介護1～5）の見込み

【計画P79】

(単位：千円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成37年度
在宅サービス	1,124,046	1,163,087	1,357,458	1,517,599	1,792,749	2,115,618	3,561,704
居住系サービス	266,444	288,977	326,927	356,564	386,290	442,279	612,354
施設サービス	981,119	1,032,063	1,151,260	1,278,061	1,371,879	1,474,902	2,126,849
合計	2,371,610	2,484,127	2,835,645	3,152,224	3,550,918	4,032,799	6,300,907



基準額に対する介護保険料の段階設定

【計画P83】

計画期間内における介護保険料の段階設定は11段階とし、各段階の設定は次のとおりとなります。

所得段階	対象者		負担割合
第1段階	生活保護受給者		基準額 ×0.45
	市民税 非課税世帯	・老齢福祉年金受給者 ・合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の人	
第2段階		合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円超120万円以下の人	基準額 ×0.65
第3段階		合計所得金額と課税年金収入額の合計が120万円超の人	基準額 ×0.75
第4段階	市民税 課税世帯で 本人非課税	合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の人	基準額 ×0.87
第5段階 (基準段階)		合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円超の人	基準額 ×1.00
第6段階	市民税 本人課税	合計所得金額が120万円未満の人	基準額 ×1.20
第7段階		合計所得金額が120万円以上200万円未満の人	基準額 ×1.25
第8段階		合計所得金額が200万円以上300万円未満の人	基準額 ×1.50
第9段階		合計所得金額が300万円以上400万円未満の人	基準額 ×1.70
第10段階		合計所得金額が400万円以上500万円未満の人	基準額 ×1.80
第11段階		合計所得金額が500万円以上の人	基準額 ×1.90

所得段階別被保険者数

【計画P84】

第1号被保険者の所得段階別被保険者数を、次のとおり推計します。

所得段階	負担割合	被保険者数の推計（人）			
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
第1段階	基準額 ×0.45	2,221	2,271	2,322	6,814
第2段階	基準額 ×0.65	832	851	870	2,553
第3段階	基準額 ×0.75	789	807	825	2,421
第4段階	基準額 ×0.87	3,023	3,093	3,161	9,277
第5段階 (基準段階)	基準額 ×1.00	2,061	2,108	2,155	6,324
第6段階	基準額 ×1.20	2,533	2,590	2,648	7,771
第7段階	基準額 ×1.25	2,078	2,126	2,173	6,377
第8段階	基準額 ×1.50	1,239	1,267	1,296	3,802
第9段階	基準額 ×1.70	608	622	636	1,866
第10段階	基準額 ×1.80	206	211	216	633
第11段階	基準額 ×1.90	527	540	552	1,619
合計		16,117	16,486	16,854	49,457
所得段階別加入割合補正後 被保険者数		16,835	17,222	17,607	51,664

介護保険料基準額（月額）の算定方法

【計画P85】

平成30年度から平成32年度にかけての第1号被保険者の1か月あたりの保険料基準額は次のとおりとなります。

保険料収納必要額	÷	保険料収納率	÷	被保険者	÷	月数	÷	基準月額
2,943,132,456円		98.00%		51,664人		12		4,844円

	第6期	第7期	平成37年度
保険料基準額（月額）	4,731	4,844	9,726
保険料基準額の伸び率（%） （※当該保険料基準額／第6期保険料×100）		102.4%	205.6%



よしかわ地域包括ケア計画
 （第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）
 【概要版】
 平成30年3月

発行：吉川市 健康長寿部 長寿支援課
 〒342-8501 吉川市吉川二丁目1-1
 TEL：048-982-5118
 FAX：048-981-5392